

## 『出穂後のいもち病防除を！』

営農情報第24号でもお知らせした通り、本年はいもち病が多く見られ、日に日に窓口での問い合わせも増えています。

岡山県病害虫防除所の注意報や、JA 職員の声かけにより、出穂前の防除を行い出穂時の穂への感染リスクは減らせていますが、出穂後も感染の可能性があるため下記表を参考に出穂後防除を行いましょ。

### 出穂後防除に使用できるいもち病に登録のある農薬

	商品名	10a当り使用量	使用時期	使用回数	使用方法
殺虫殺菌剤	ハスラーRX粉剤DL	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカー粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内	散布
殺菌剤	トライトレボン粉剤DL	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカーフロアブル	1000倍60~150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシントレバリダ水和剤	500倍60~150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
殺菌剤	ブラシン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内	散布
	ブラシンフロアブル	1000倍60~150%	収穫7日前まで	2回以内	散布
	トライフロアブル	1000倍60~150%	収穫14日前まで	2回以内	散布

※農薬の在庫は、各支店・資材店へお問い合わせ下さい。

※いもち病の殺菌剤「ブラシン」に含まれている殺菌成分『フェリムゾン』は水稻に2回までしか使用できないので、「トライ」を使用するなどして、いもち病防除をしてください。



図1：穂首いもちになり白く穂が見える



図2：穂首いもちになり穂首が茶褐色